

「市のブランド戦略とDMOの役割について」と「個人所有の文化財について」を取り上げました。



■市のブランド戦略とDMOの役割について

岐阜県高山市では、平成28年に市制80周年を迎えるにあたり、その80年の間には先人たちがどのような苦勞をし、どのようなことをしてきた結果なのかを振り返るとともに、市民・事業者・行政等が今一度原点に立ち返り、飛騨高山の魅力についてしっかり共通認識を持って、ブランド化に取り組んでいく必要があると考え、ブランド戦略が推進されております。

川越市においては、現在シティセールスを推進しているにも関わらず、市のブランド化を意識した取り組みはこれまで行われてきておりません。

そのようななか、現在川越市では、DMOの創設が検討されております。DMOは観光に特化して明確なコンセプトを持ちながら地域ブランドを構築し、行きたいまちとして選ばれる観光地域づくりを推進する法人組織ですが、観光だ

けではない市全体のブランドづくりについては川越市が市として行わなくてはなりません。

川越市は2022年に市制施行100周年を迎えます。高山市が80周年を前に改めて市の魅力について共通認識を持ってブランド化に取り組まれたように、川越市においても、住んでみたい、住み続けたいまちとして選ばれる地域づくりのためには、DMOに期待する役割と同様に明確なコンセプトに基づいた市全体のブランディングが必要であると提言しました。

■個人所有の文化財について

文化財には行政が有している文化財以外にも個人の所有物が文化財として指定されているものが多数あります。

通常の所有物であれば所有者の意志によって扱えますが、この所有物が文化財指定されると、国民的財産という価値がプラスされることで個人の自由には扱えなくなる一方、その保存・修繕にあたっては所有者の責務として個人の負担が生じます。

また、その修繕などについてはその価値が損なわれないような方法が必要であり、多額の費用が発生します。

しかしながら、市は文化財指定をしたのちは、その文化財の現状把握をしておらず、所有者任せとなっております。

このように所有者に頼りきってはいは、今後文化財の維持・管理が困難になることも懸念されることから、所有者に寄り添いながら適切な保存管理計画を策定すべきであると提言しました。

■防災・減災対策特別委員会の設置

台風第21号により甚大な被害を受けたことにより、市議会において防災・減災対策特別委員会が設置されました。

委員長	小野澤康弘	副委員長	桐野 忠
委員	海沼秀幸	委員	樋口直喜
委員	池浜あけみ	委員	伊藤正子
委員	吉野郁恵	委員	今野英子
委員	山木綾子	委員	矢部 節

ちょっとひといきコラム



2016年末に誕生した私の息子もお陰様で昨年末無事に1歳の誕生日を迎えることができました!

今後は自身の子育ての経験も通じながら、より一層子育てのしやすい川越となるよう活動してまいります!

樋口なおき Naoki Higuchi プロフィール ～川越のために、真面目に。～

- 昭和58年2月23日、川越市脇田町生まれ
- 家族：妻、子、母、猫2匹
- 川越市立中央小学校（FCミドル所属）
川越市立川越第一中学校（バスケット部 部長）
西武学園文理高等学校（バスケット部）
明治大学 商学部 卒業
- （株）博報堂など、民間企業で社会を学ぶ
- 2011年 川越市議会議員選挙に挑戦し、惜敗

- 選挙後、政治を学び直すため、仕事をしながら 明治大学 公共政策大学院 に入学・修了
2015年3月修了 公共政策修士（専門職）取得
- 衆議院議員※秘書（公設）として採用され、
国政の現場で学ぶ ※西岡新 元代議士（愛媛2区）
- 2015年 市議会議員に当選（現1期）
- 川越まつりには、脇田町の山車の曳き手の会「葵家康会」の一員として参加しています!

〒350-1122 川越市脇田町13番地15
電話：049-224-2844
携帯：090-5323-7284
ホームページ：http://higuchinaoki.jp

樋口なおき

検索